
電子入札システム

初期設定マニュアル 1 章

～ 環境設定 ～

入札参加者向け

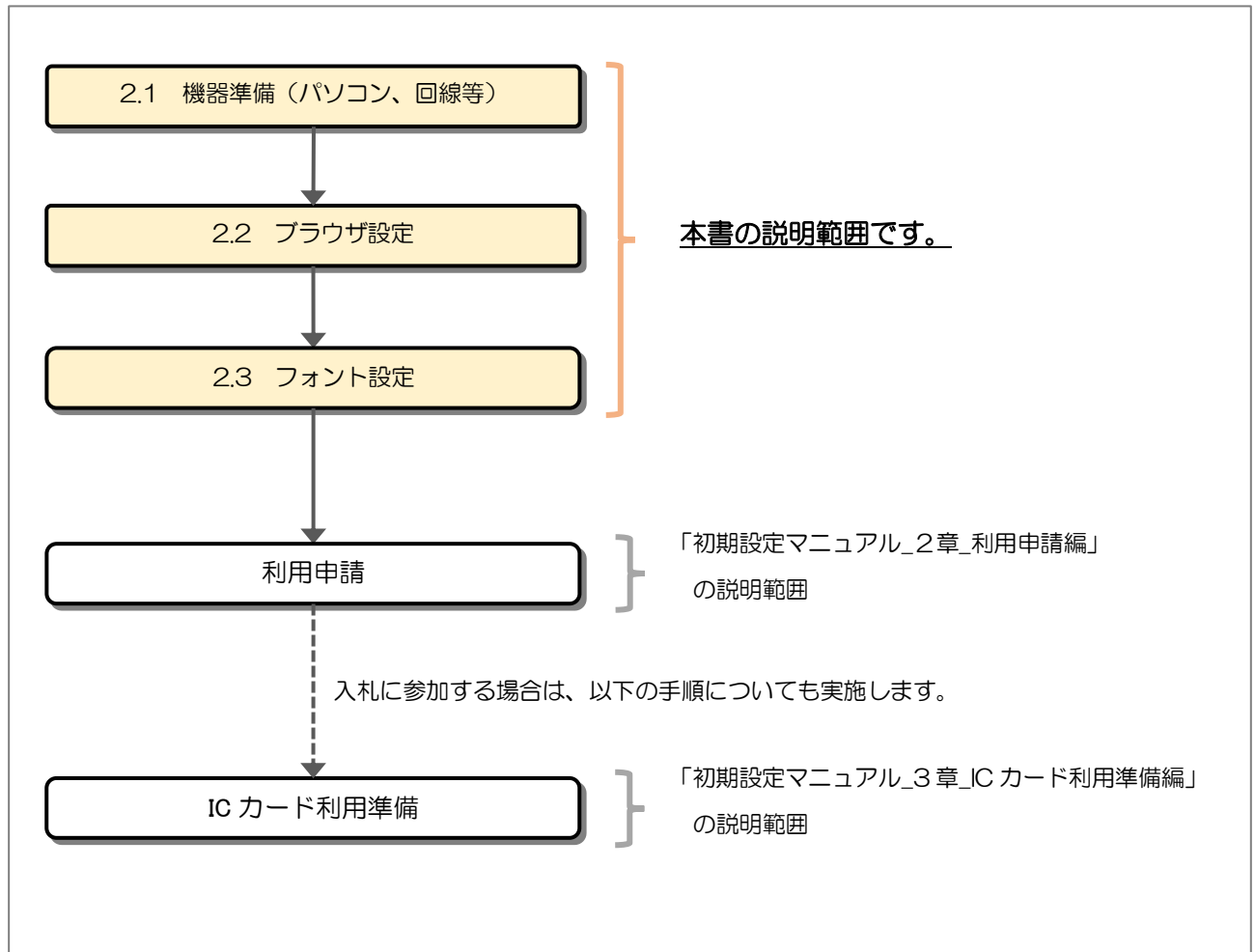
目次

1	はじめに.....	1
1.1	環境設定の流れ.....	1
2	環境設定.....	2
2.1	機器準備（パソコン、回線等）.....	2
2.2	ブラウザ設定.....	3
2.2.1	Microsoft Edge の場合.....	3
2.2.2	Google Chrome の場合.....	7
2.3	フォント設定.....	11
2.3.1	設定メニューの表示.....	11
2.3.2	文字コードの設定（「設定」が表示される場合）.....	12
2.3.3	文字コードの設定（「プロパティ」が表示される場合）.....	14

1 はじめに

本書は、調達情報サービスおよび電子入札システムを利用するための環境設定手順を記載したものです。

1.1 環境設定の流れ



2 環境設定

2.1 機器準備（パソコン、回線等）

以下の推奨環境を満たしているパソコンやソフトウェア、回線が必要となります。

(1) ハードウェア環境

パソコンの性能に関する推奨環境を以下に示します。

項目	推奨環境
CPU	Intel Core i3 3.0GHz 同等以上推奨
メモリ	2GB 以上
ディスク	空き容量が1GB 以上
ディスプレイ解像度	1,024 × 768 (VGA) 以上
USB ポート	空き USB ポート 1 ポート ※入札参加時に必要（企画競争、公募への参加のみの場合は不要）
プリンタ	発行された帳票や提出した書類を印刷し保管する場合はご用意ください。

(2) ソフトウェア環境

パソコンに搭載されているソフトウェアに関する推奨環境を以下に示します。

項目	推奨環境
OS（基本ソフト）	Windows 11 Home/Pro ※Mac には対応していません。
ブラウザ	Microsoft Edge（Chromium 版） Google Chrome ※Safari、Firefox には対応していません。
.Net Framework	.Net Framework 4.6.2 以降
電子入札関連ソフト	電子入札システム対応の民間認証局より提供されます。 ※入札参加時に必要（企画競争、公募への参加のみの場合は不要）

(3) ネットワーク環境

項目	推奨環境
回線	インターネットに接続できる回線があること
電子メール	電子メールが送受信できる環境であること
通信プロトコル	次の通信プロトコルが通過可能であること 「HTTP」「HTTPS」「LDAP」

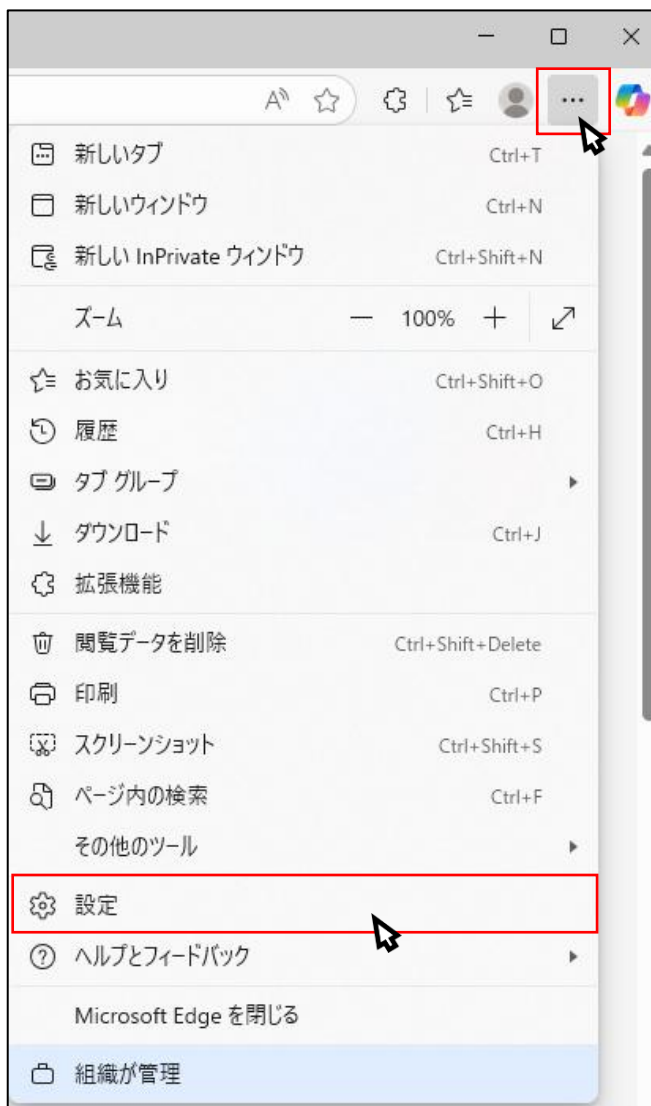
2.2 ブラウザ設定

ポップアップ許可の登録を行います。使用予定のブラウザで設定を行ってください。

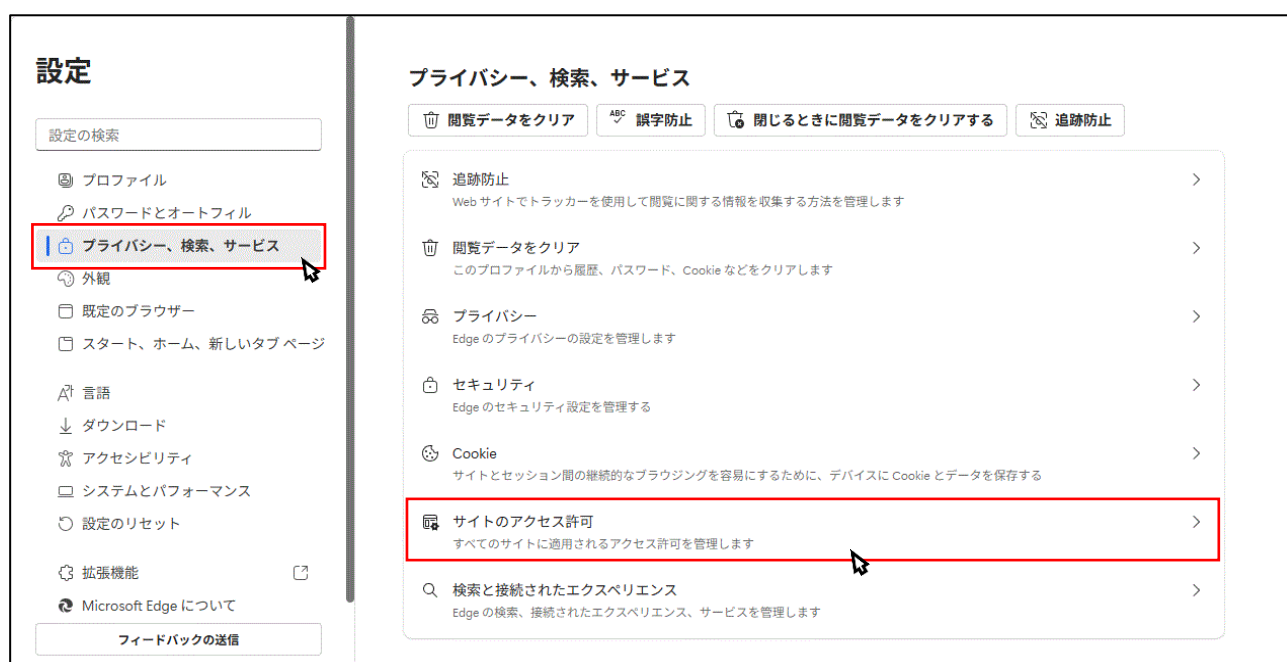
- ・「Microsoft Edge」の場合 → 2.2.1 からの手順
- ・「Google Chrome」の場合 → 2.2.2 からの手順

2.2.1 Microsoft Edge の場合

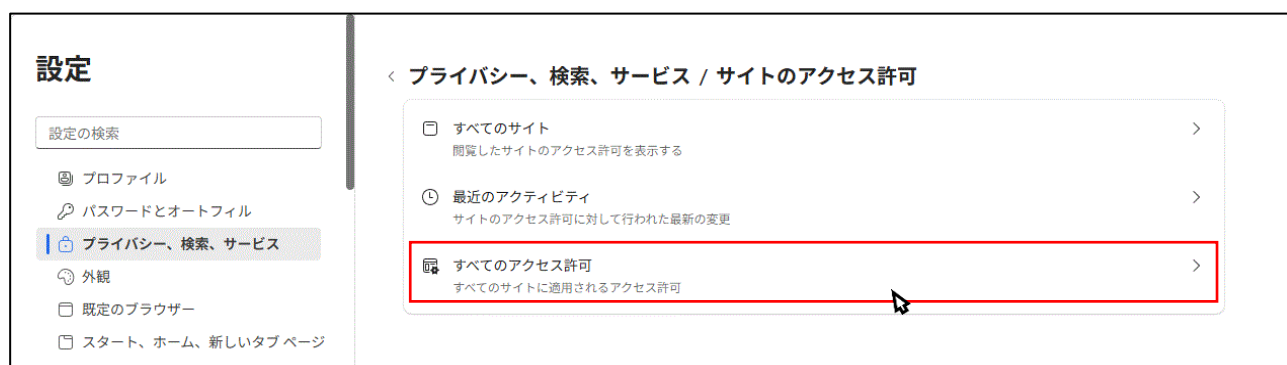
- (1) Microsoft Edge のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



- (2) 画面左側のメニューの「プライバシー、検索、サービス」をクリックして、表示された画面の「サイトのアクセス許可」をクリックします。



- (3) 表示された画面の「すべてのアクセス許可」をクリックします。



(4) 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



- (5) 「ポップアップの送信とリダイレクトの仕様を許可しました」欄の右にある「サイトの追加」ボタンをクリックします。



※「ポップアップの送信とリダイレクトの使用は許可されていません」欄の「サイトの追加」ボタンをクリックしないよう注意してください。

- (6) 次の URL を入力し「追加」ボタンをクリックします。



- (7) 入力した URL が「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しました」欄に追加されていることを確認します。

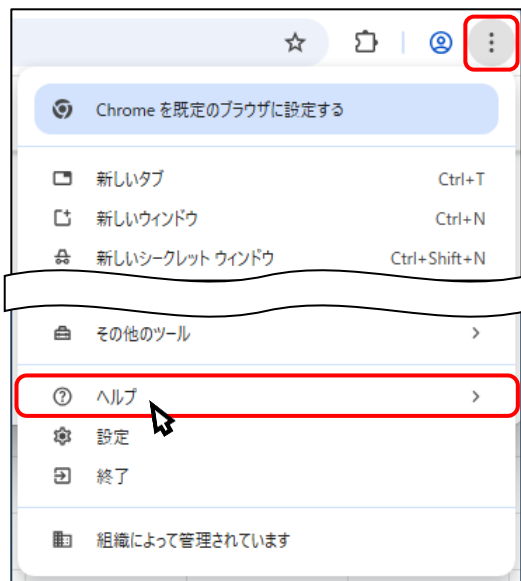


以上で、Microsoft Edge でのブラウザ設定は完了です。

「2.3 フォント設定」へ進んでください。

2.2.2 Google Chrome の場合

- (1) Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



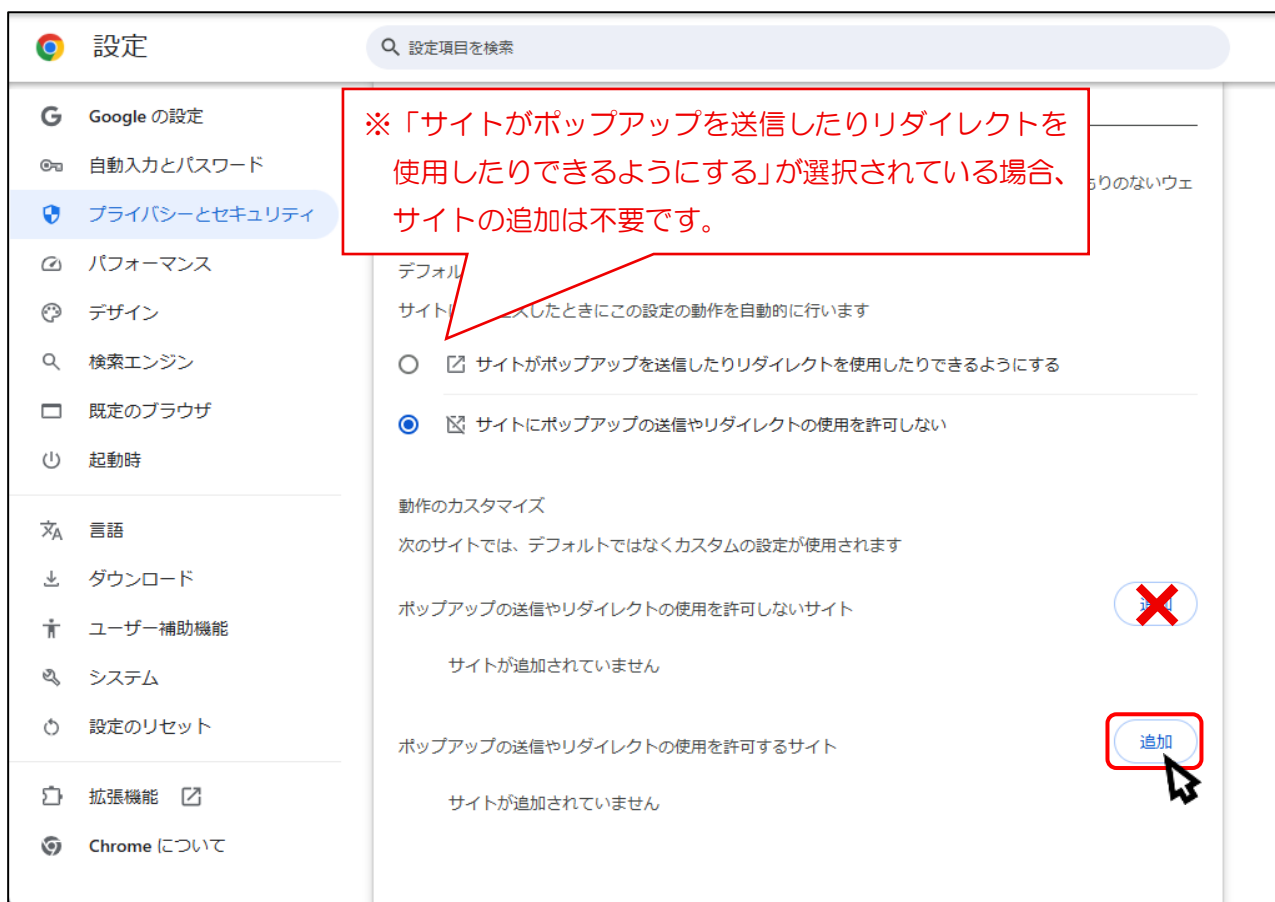
- (2) 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「サイトの設定」をクリックします。



(3) 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



- (4) 「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の「追加」ボタンをクリックします。



※「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト」欄の「追加」ボタンをクリックしないよう注意してください。

- (5) 次の URL を入力し「追加」ボタンをクリックします。

入力欄	https://jfc.efftis.jp
-----	---

サイトの追加

ウェブサイト

<https://jfc.efftis.jp>

キャンセル追加

- (6) 入力した URL が「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」欄に追加されていることを確認します。

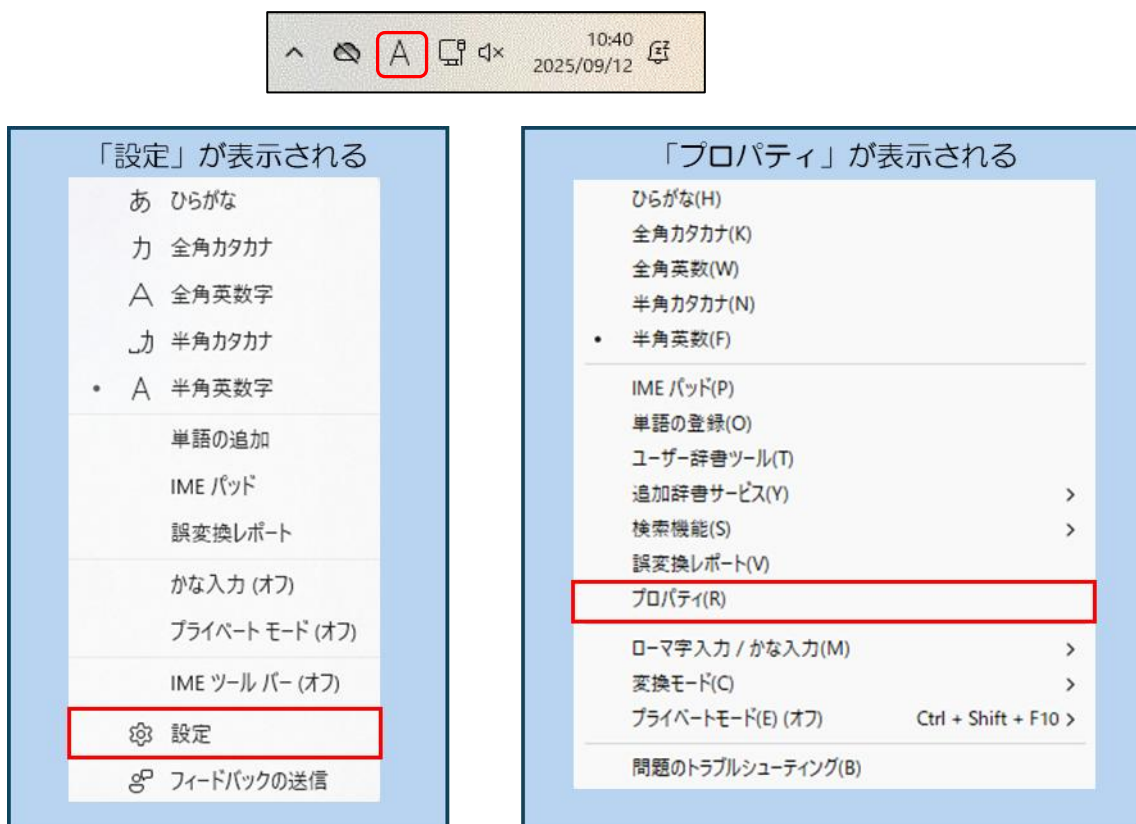


以上で、Google Chrome でのブラウザ設定は完了です。
「2.3 フォント設定」へ進んでください。

2.3 フォント設定

2.3.1 設定メニューの表示

- (1) タスクトレイのIMEのアイコン(「A」や「あ」)を右クリックします。



- メニューに「設定」が表示される場合
⇒ 「2.3.2 文字コードの設定（「設定」が表示される場合）」の手順へ。
- メニューに「プロパティ」が表示される場合
⇒ 「2.3.3 文字コードの設定（「プロパティ」が表示される場合）」の手順へ。

2.3.2 文字コードの設定（「設定」が表示される場合）

- (1) 「設定」をクリックします。



- (2) 「全般」をクリックします。



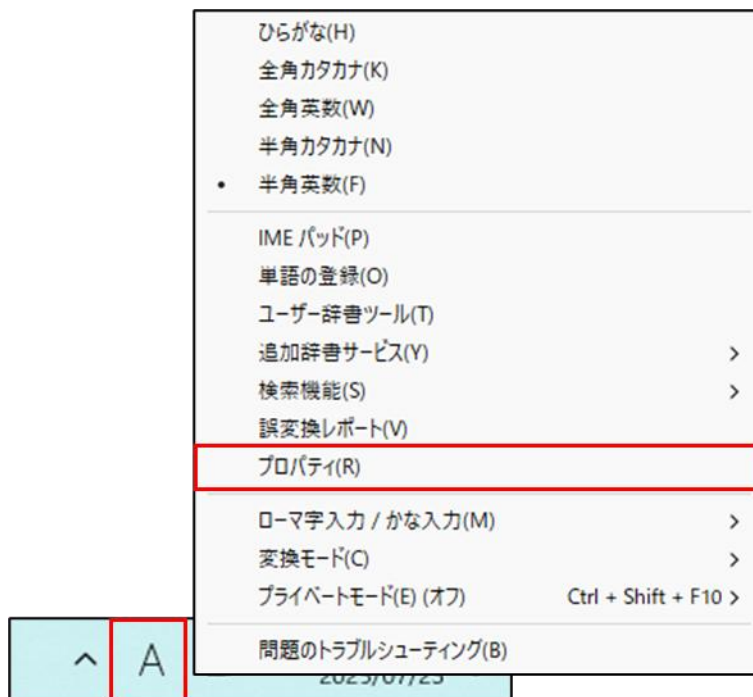
- (3) 画面を下にスクロールし、「変換候補の一覧に含める文字セットを選択する」設定を「JIS X 0208 のみ」にチェックを付けます。



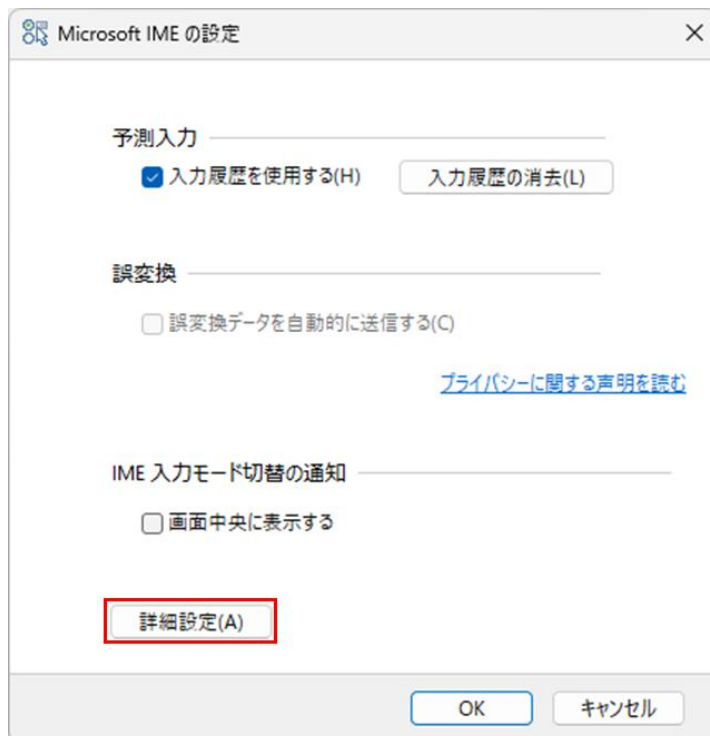
「2.3 フォント設定」は以上です。

2.3.3 文字コードの設定（「プロパティ」が表示される場合）

- (1) 「プロパティ」をクリックします。



- (2) 「詳細設定(A)」ボタンをクリックします。



- (3) 「変換」タブの「詳細設定(D)」ボタンをクリックします。



- (4) 「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する(J)」にチェックを入れます。



「2.3 フォント設定」は以上です。

【メモ】